

令和4年度災害時参集把握調査表

令和4年4月1日現在

事業所	徒歩圏の職員	参集把握区分			職員	徒歩圏内で 参集可能人数
		○ (可能) 3以下	△ (不確定) 4~5以下	× (不可能) 6以上		
MORE	2	17	6	1	24	2
いつきの里・いつきホームズ	17	58	24	2	84	16
ウィズ	5	14	8		22	4
くるみ園・みらい・きらきらキッズ	7	25	7	1	33	7
ラ・ルーチェ	1	13	1		14	1
松山市障がい者北部地域相談支援センター	1	3	1		4	1
松山福祉園・きずなホームズ	13	42	9	1	52	11
のぞみホームズ・ホームヘルプ・相談	14	53	15	1	69	14
福角保育園	2	11	7		18	2
法人本部事務局	4	11	5		16	3
堀江保育園	6	13	4		17	6
計	72	260	87	6	353	67
	20.40%	73.65%				18.98%

令和4年4月1日現在における職員の参集把握調査をいたしました。

今年度は職員353名のうち73.65%（260名）が参集可能職員であることが分かりました。

また、福角会への徒歩圏内の職員は72名で全体の20.40%で、参集可能人数は18.98%(67名)の職員となります。

大規模災害等においては初動対応が重要であり、いち早く職員の参集が必要と考えます。交通寸断が予想される状況においては、とりわけ徒歩圏内の職員の参集が重要となりますが、初動対応における参集可能人数は法人職員の18.98%の職員しか確保できないということとなります。BCP発動後、忽ちはこの参集可能職員で対応が可能なこと等を検討・準備しておく必要があります。今後、危機管理委員会においてBCP発動後の初動対応の検討をしていきたいと考えています。

各事業所においても、初動対応時に参集できる職員数は、全体の2割程度ということをお含みおきいただき、対応を検討する必要があります。

項目	点数				
	0	1	2	3	4
通勤手段	自転車・徒歩・バイク	車・バス・電車			
通勤時間	10分未満	10分以上30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上	
同居家族について (小学生以下)	0	1人	2人	3人	
同居家族について (高齢者(75歳以上))	0	1人	2人	3人	4人
自宅の建物の建築年	昭和57年 (1982年)以降	昭和56年 (1981年)以前			

※参集調査点数算出方法について

職員の通勤手段・時間、同居家族状況(小学生以下、高齢者(75歳以上)又は障害者の人数)、自宅建物の建築年を点数化し、合計点数が少ない職員について、参集が可能であると想定している。

合計点数「0～3」について参集可能、「4～5」不確定、「6以上」参集不可としている。

また、徒歩圏内で参集可能人数については、徒歩圏内で且つ合計点数が0～3の職員人数となっている。